



教会だより ミルトス

日本バプテスト教会連合
八千代キリスト教会
牧師 小林政和
八千代市大和田新田 94-77
Tel:047-450-1536・Fax:047-473-3925
Eメール: gpnng725@gmail.com
URL/<https://yachiyokyokai.org>
郵便振替・00190-4-554373

ミルトスは、水がなくても育つ強い木であることから不死のイメージがあり、祝福と繁栄の象徴の木と言われている。

今年のみ言葉 ローマ人への手紙 8章 34節

「だれが、私たちが罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなして下さるのです。」

どなたでも ご自由にお入り下さい。お待ちしております。
日曜日・午前10時30分・礼拝
水曜日・午後1時30分・祈禱会

「しもべはあなたの前に祈る勇気を得ました」

牧師 小林 政和



ダビデはイスラエル最大の王である。ダビデは自分のために香柏の宮殿を建てていたが、「主の箱」を収納する神殿が造られていないことに気づき、引け目を感じていた(Ⅰ歴代誌17章1-27節)。ダビデは、ナタンに相談するが、ナタンも「主が共にしてくれるなら、よろしかろう」と答えるが、神は「私は神殿の建築して欲しいと一度も言ったことはあるか。息子の中から誰かが建てる」と言われた。それを受けてナタンは急きよ神のみ旨をダビデ告げる。神が彼のために家を建てる」とはダビデ王朝を確立するという約束なのだった。主はどんなときにも、一人子キリストを惜しまず与えてくださった。私たちには十字架の主が共にいてくださっているので、私たちはどんなときにも祈る勇気を与えられている。「わが神。主よ、あなたは彼のために家を建てる時もしもべに示されました。それゆえに、しもべはあなたの前に祈る勇気を得ました。」と感謝の祈りをささげた。「ヤハウエイのなされることは、ヤハウエイの考えによってヤハウエイの定めた時に実行される」。ダビデは軍人であり、多くの人の血を流してきた(同28・3)。神殿を建てるのはダビデでなく、その子ソロモンが当たるべきであると知る。ダビデは息子が建築するであろう神殿の必要な建材を準備することになる。12-14節ではダビデ王朝の永続性についての保証を語っている。ただヤハウエイがその位を固く守ることが強調されている。

神は全く自由にイスラエルを選んだ。選ばれる側に何ら特別に良いことがあったわけではないことを示している。神がイスラエルを贖って、エジプトから救われてカナンに住むことを許される。今まで神は天幕の宮に満足していた。神は王国をたてダビデの子孫に王座を確立する。ダビデ王国の中に、神の国が実現する。ダビデの家系に救い主が誕生することになるのである。

ダビデの祈り「私が何者であり、私の家は何なのですか」「どの国民があなたの民イスラエルのでしょうか」。ダビデは法外の喜びを喜び、主はダビデ行く先々で彼に勝利を与えられた。

4月1日(水) 洗足式

定例の祈禱会の後、小林牧師により洗足式が行われました。



4月19日(日)八千代キリスト教会 総会

午前中の日曜礼拝に続き、年次総会を行いました。昨年度の行事報告・決算。今年度の活動予定・予算案が熱心に議論され、承認されました。実りある総会が行われた事に感謝します。



教会の花

(4月19日撮影)下橋



4月5日(日)イースター祝会



午前の日曜礼拝の後、食事をしながらの、歌あり・紙芝居・朗読などで楽しく祝会を行いました。(下橋)



4月7日(火)上福岡バプテスト教会 渋谷昌史

牧師の告別式 かねてより胃癌の療養中の渋谷牧師が4月1日に召天され7日にお葬式がありました。



4月29日(水)地区連合総会、スプリングセミナー

で中澤師による講演会が行われる。

連合センターで、午前中は東京地区連合総会が開催され、午後からは中澤信幸師(大野教会)が「最後まで穏やかに生きるために～教会ができること」と題しての講演がありました。(小林)



メンバー紹介 「私の信仰と絵画」

佐藤文昭

私が信仰にかかわる絵を描くようになったのは、習志野独立教会の長老松貝幸姉の深い祈に触れたのがきっかけでした。以前習志野の教会でクリスマスに行っていた、信者さんのお宅に一軒ずつ伺いながらの賛美でした。夜の様子を描くのは難しく、ジョルジュ・ド・ラ・トゥールの絵を勉強しました。その後ヨハネ福音書15章の主の「わたしにつながっていなさい」の御言葉の部分で、ブドウの木から主の御身体が伸びて人間と手をつなぐ様子を描き、続いて新約聖書中最大の伝道者というべきパウロが、ユダヤ教徒の時に天からの強い光によって盲目となり、アナニアによって再び見えるようになった（クリスチャンとなった）時の感動的な場面。ギデオンの聖書から英文の文字も描きました。そして、キリストの愛を腹話術師として広める活動される、教会の村上姉を描き、古来からテーマとして描かれることの多かった聖母子の絵を描きました。どれも力量は足りませんが、今後共、自らの信仰の証しとして描いて参りたいと思います。



教会及び連合のスケジュール(予定)

- 02月18日(水)～4月4日(土) レント(四旬節)
- 02月24日(火)～26日(木) 教職セミナー(於:小田原市・天成園)
- 03月19日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会
- 03月20日(金) 和田健治兄召天記念会
- 04月01日(水) 洗足式
- 04月05日(日) イースター(復活祭)
- 04月12日(日) 運営委員会
- 04月19日(日) 八千代キリスト教会総会
- 04月29日(水) 東京地区連合総会、連合スプリングセミナー
- 09月20日(日) 創立30周年記念礼拝

祈って下さい

- 1) 上福岡教会の渋谷昌史師が召されました。良い時に良い牧師が与えられますように
- 2) 三郷教会の大澤美保夫人の、抗がん剤治療が副作用なく用いられ、健康が回復できますように
- 3) ロシア軍に侵攻されているウクライナに、平和が回復するように
- 4) アメリカ・イスラエルとイランの間での戦争が終結し、ホルムズ海峡で安全運航ができますように
- 5) 横田めぐみさんはじめ拉致被害者の方々が、早く家族のもとに帰れるように
- 6) 求道者が救われるように、特に奥田順一兄、池田英穂兄が受洗できるように
- 7) 洗礼を受けられた「八木明子」姉の信仰の成長のために
- 8) 成田のグループ・ホームにいる安藤真大兄の歩行機能が、リハビリできますように

3分間講座 「モーセの賢明な姉ミリアム」

ファラオはヘブライ人(イスラエル人のこと)を奴隷として支配し、男児の誕生を許しません。モーセもやむを得ず籠に乗せてナイル川に流されます。姉のミリアムは母親のそばで、心配そうに弟モーセの様子を眺めていました。偶然ファラオの娘たちが水浴びをしようと川に近づき、籠に入った赤子に気が付きます。そのときミリアムが勇気を出して娘たちの前に出て、「わたしがこの子の乳母を捜してきます」と申し出ます。娘たちの許しを得たミリアムはこれも神の導きと信じ、実の母を乳母だといって連れ出し乳を飲ませました。それからのモーセはこのミリアムの賢い行動で、家族と共に育ちます。そのときミリアムは勇気と信仰心をもってすれば、神は願いをかなえてくれることを学びます。やがてモーセは王宮で暮らしますが、そこで地位や名声を得るより、神に使える道を選びました。

時が移り、モーセがイスラエル人を率いてカナンに向けてエジプトを去るとき、ファラオはいったんは解放したイスラエル人を連れ戻そうと軍兵を差し向けます。モーセは海を二つに割り、エジプト軍の追及をかわします。ミリアムはそのとき大勢の女性と小太鼓を鳴らして、神の力を賛美して踊ったのです。こうしてミリアムは女性預言者と呼ばれるまでになります。

以前にヘブライ人の奴隷を迫害したエジプト人を殺したモーセは、40年間メディアンに隠れている間に、チツポラを妻に迎えていました。久しぶりにエジプトでモーセは家族と再会し、ミリアムは喜んでモーセの夫婦と接しますが、次第に異国人のチツポラを批判するようになり、自分たちの働きが埋もれ、モーセの功績のみが表面に立つことに嫉妬します。神は怒りミリアムを病に落とします。モーセの祈りで病は癒やされたものの、7日間イスラエル人の宿営から隔離します。ミリアムは自分を悔い、神の矯正を謙虚に受け入れました。そして憐れみ深い神は、末長くミリアムを神に忠実な人として記憶しました。(池田)



「預言者ミリアムの歌」ルカ・ジョルダノ作1687年

編集後記: 気象庁は4月、最高気温40度以上を「酷暑日」と呼ぶことにすると発表した。この数年の夏の異常な暑さが続いており、常態化しているとのことの様である。春夏秋冬のうち、地球温暖化の影響で、猛暑の夏の時期が長くなり、さらに高温化している。暑さに弱い体質の人には、ますます辛い季節となってきている。とくに冷房の冷えた風が苦手な私にとっては、暑さでぐったり、クーラーの冷風にはゾクゾク寒気、耐え難い日々になりそうである。避暑地に逃げ出したいけど、その余裕もない。(下橋)